

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第91期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 後藤 佐恵子
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル3階
【電話番号】	(054)288 5200
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営企画本部長 川隅 義之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) はごろもフーズ株式会社東京支店 (東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル) はごろもフーズ株式会社名古屋支店 (愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄) はごろもフーズ株式会社大阪支店 (大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第2四半期 連結累計期間	第91期 第2四半期 連結累計期間	第90期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	41,072,884	42,294,361	79,920,570
経常利益 (千円)	1,475,775	1,652,864	1,868,952
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	876,079	1,115,322	993,995
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,314,360	985,529	780,175
純資産額 (千円)	27,820,674	27,932,644	27,116,648
総資産額 (千円)	49,648,645	50,442,346	47,470,924
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	93.09	118.51	105.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	56.0	55.4	57.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,377,118	273,594	2,620,852
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,093,962	1,233,803	2,066,779
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	700,442	993,129	883,724
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	723,435	843,437	810,711

回次	第90期 第2四半期 連結会計期間	第91期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	48.75	59.92

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 4 当社は2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。第90期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しています。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

2019年3月期の有価証券報告書（2019年6月27日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、原材料価格の上昇や人件費、物流費等の上昇を踏まえて、製品価格の改定や製品数の絞り込みを引き続き行いました。当期は消費者の健康志向や個食ニーズに対応したツナ製品が伸長し、売上高は前年同期比3.0%増の422億94百万円となりました。

利益面では、付加価値を高めた新製品が好調だったこと、まぐろ・かつお価格が比較的安定して推移したこと等により、営業利益は15億38百万円（前年同期比17.9%増）となりました。一方、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常利益は16億52百万円（同12.0%増）となりました。前年同期には、製品回収による特別損失を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億15百万円（同27.3%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	18,707,594	45.5	20,174,526	47.7	1,466,932	7.8
		デザート	2,758,027	6.7	2,723,741	6.5	34,286	1.2
		パスタ&ソース	3,842,358	9.4	4,157,298	9.8	314,939	8.2
		総菜	3,807,230	9.3	3,707,666	8.8	99,564	2.6
		削りぶし・のり・ふりかけ類	2,554,183	6.2	2,371,778	5.6	182,405	7.1
		ギフト・その他食品	1,761,036	4.3	1,789,607	4.2	28,571	1.6
		計	33,430,431	81.4	34,924,618	82.6	1,494,187	4.5
	業務用食品	6,558,657	16.0	6,347,573	15.0	211,084	3.2	
	ペットフード・バイオ他	868,851	2.1	782,457	1.8	86,394	9.9	
	計	40,857,940	99.5	42,054,649	99.4	1,196,708	2.9	
その他	214,944	0.5	239,712	0.6	24,767	11.5		
合計	41,072,884	100.0	42,294,361	100.0	1,221,476	3.0		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、かつお製品や油を使用せずに「いつもの」美味しさを実現した「オイル不使用シーチキン」が好調で、売上高は前年同期比7.8%増加しました。

「デザート」では、原料価格の高騰による価格改定や製品数の絞り込みの影響で、みかん・桃・あずき類が減少し、売上高は同1.2%減少しました。

「パスタ&ソース」では、前年に製品回収による影響で減少したマカロニ類が回復したことに加え、主力の結束スパゲッティが好調で、売上高は同8.2%増加しました。

「総菜」では、他社の廉価品の販売の影響を受けた主力のシャキッとコーンが低調で、売上高は同2.6%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、新製品を拡充した味付けきざみのり「味きざみ」シリーズが好調でしたが、主力の花かつお製品の販売機会が減少し、売上高は同7.1%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、前年に大幅に伸長した個食タイプの包装米飯「パパッとライス」が引き続き好調で、売上高は同1.6%増加しました。

「業務用食品」では、原料価格や物流費の高騰を受けて、価格改定したツナ・デザート・乾物製品の販売が低調で、売上高は同3.2%減少しました。

「ペットフード・バイオ他」では、まぐろ原料の供給が減少したことにより、フィッシュミールやエキスの生

産数量が減少し、売上高は同9.9%減少しました。

財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より29億71百万円増加して、504億42百万円となりました。これは主に、商品及び製品が6億57百万円、投資有価証券が2億円減少したものの、受取手形及び売掛金が32億94百万円、有形固定資産のその他（純額）が6億59百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より21億55百万円増加して、225億9百万円となりました。これは主に、販売促進引当金が13億46百万円、長期借入金が11億88百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より8億15百万円増加して、279億32百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億4百万円減少したものの、利益剰余金が9億45百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.1%から55.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、32百万円増加し、8億43百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は2億73百万円（前年同期は13億77百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益を計上したことやその他の引当金の増加、たな卸資産の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は12億33百万円（前年同期は10億93百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により増加した資金は9億93百万円（前年同期は7億円の減少）となりました。これは主に、長期借入金によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、96,860千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,300,000
計	41,300,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,325,365	10,325,365	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	10,325,365	10,325,365		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	10,325,365	-	1,441,669	942,292	-

(注) 2019年6月27日開催の定時株主総会決議により、会社法第448条第1項の規定にもとづき、2019年8月1日付で資本準備金942,292千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えています。

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡市清水区辻1-1-1	4,391	46.66
はごろも高翔会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	818	8.69
後藤康雄	静岡市清水区	497	5.28
株式会社静岡銀行	静岡市葵区呉服町1-10	291	3.09
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2	291	3.09
はごろもフーズ従業員持株会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	164	1.74
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	150	1.59
木内建設株式会社	静岡市駿河区国吉田1-7-37	135	1.43
三井物産株式会社	東京都千代田区丸の内1-1-3	108	1.15
東洋製罐グループホールディングス株式会社	東京都品川区東五反田2-18-1	86	0.91
計	-	6,931	73.65

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 914,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,388,500	93,885	-
単元未満株式 (注)	普通株式 22,365	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,325,365	-	-
総株主の議決権	-	93,885	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式20株が含まれています。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区 島崎町151	914,500	-	914,500	8.86
計	-	914,500	-	914,500	8.86

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は914,520株です。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。
なお、役職の異動は、次のとおりです。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
常務取締役 事業本部副本部長 兼 シーチキン・デザート・総菜ユニット 長 兼 バイオユニット長	常務取締役 事業本部副本部長 兼 シーチキン・デザート・総菜 ユニット長	松井 敬	2019年9月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、双研日栄監査法人による四半期レビューを受けています。

なお、従来より当社が監査証明を受けている監査法人双研社は、2019年10月1日に日栄監査法人と合併し、双研日栄監査法人に名称を変更しています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	810,711	843,437
受取手形及び売掛金	15,116,473	18,411,213
商品及び製品	8,634,011	7,976,078
仕掛品	81,600	83,311
原材料及び貯蔵品	3,052,374	3,052,303
その他	1,755,181	1,661,088
貸倒引当金	3,494	2,222
流動資産合計	29,446,858	32,025,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,171,224	4,185,184
土地	3,505,898	3,469,184
その他(純額)	2,395,249	3,054,445
有形固定資産合計	10,072,372	10,708,814
無形固定資産		
372,294		400,503
投資その他の資産		
投資有価証券	6,783,789	6,582,856
退職給付に係る資産	211,764	143,796
その他	587,306	584,625
貸倒引当金	3,461	3,461
投資その他の資産合計	7,579,399	7,307,817
固定資産合計	18,024,066	18,417,135
資産合計	47,470,924	50,442,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,818,697	12,980,762
1年内返済予定の長期借入金	-	11,110
未払金	4,767,121	3,218,913
未払法人税等	132,501	591,170
売上割戻引当金	29,652	79,453
販売促進引当金	3,215	1,349,362
賞与引当金	332,846	369,459
その他	514,425	1,016,912
流動負債合計	18,598,461	19,617,144
固定負債		
長期借入金	-	1,188,890
役員退職慰労引当金	757,114	778,934
退職給付に係る負債	10,918	11,924
その他	987,781	912,808
固定負債合計	1,755,814	2,892,557
負債合計	20,354,276	22,509,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	24,635,627	25,581,554
自己株式	2,162,314	2,162,451
株主資本合計	24,857,511	25,803,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,570,904	2,466,716
繰延ヘッジ損益	3,080	7,307
為替換算調整勘定	106,754	147,673
退職給付に係る調整累計額	201,932	182,391
その他の包括利益累計額合計	2,259,137	2,129,344
純資産合計	27,116,648	27,932,644
負債純資産合計	47,470,924	50,442,346

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
売上高	41,072,884	42,294,361
売上原価	26,029,446	26,757,695
売上総利益	15,043,438	15,536,666
販売費及び一般管理費	¹ 13,738,116	¹ 13,998,261
営業利益	1,305,322	1,538,404
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	83,028	85,983
持分法による投資利益	43,792	-
仕入割引	17,678	16,937
賃貸料収入	36,634	36,057
その他	25,364	30,680
営業外収益合計	206,507	169,662
営業外費用		
支払利息	2,033	2,152
賃貸収入原価	19,699	20,895
持分法による投資損失	-	23,491
その他	14,322	8,663
営業外費用合計	36,054	55,202
経常利益	1,475,775	1,652,864
特別利益		
固定資産売却益	-	10,750
投資有価証券売却益	-	880
特別利益合計	-	11,631
特別損失		
固定資産除却損	8,230	1,395
投資有価証券売却損	-	130
投資有価証券評価損	11,432	-
品質関連損失	² 175,651	-
特別損失合計	195,314	1,525
税金等調整前四半期純利益	1,280,460	1,662,969
法人税等	404,381	547,646
四半期純利益	876,079	1,115,322
親会社株主に帰属する四半期純利益	876,079	1,115,322

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	876,079	1,115,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272,042	104,188
繰延ヘッジ損益	166,576	4,226
退職給付に係る調整額	30,847	10,382
持分法適用会社に対する持分相当額	31,185	31,760
その他の包括利益合計	438,281	129,793
四半期包括利益	1,314,360	985,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,314,360	985,529
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,280,460	1,662,969
減価償却費	455,514	454,562
品質関連損失	175,651	-
有価証券評価損益(は益)	11,432	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	875	1,272
その他の引当金の増減額(は減少)	1,374,537	1,454,380
受取利息及び受取配当金	83,037	85,986
支払利息	2,033	2,152
為替差損益(は益)	56	651
持分法による投資損益(は益)	43,792	23,491
売上債権の増減額(は増加)	903,058	3,294,740
たな卸資産の増減額(は増加)	760,242	583,092
未収入金の増減額(は増加)	126,688	43,993
仕入債務の増減額(は減少)	638,071	162,064
未払金の増減額(は減少)	1,566,462	1,434,006
その他	582,402	720,726
小計	1,289,379	290,774
利息及び配当金の受取額	83,037	85,986
利息の支払額	1,097	2,214
法人税等の支払額	48,556	100,952
法人税等の還付額	192,454	-
品質関連損失の支払額	138,100	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,377,118	273,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,050,370	1,169,154
投資有価証券の取得による支出	1,943	12,687
貸付金の回収による収入	291	167
その他	41,938	52,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,093,962	1,233,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,200,000
長期借入金の返済による支出	500,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	30,242	37,337
自己株式の取得による支出	795	137
配当金の支払額	169,404	169,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	700,442	993,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	193
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	417,384	32,726
現金及び現金同等物の期首残高	1,140,820	810,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	723,435	843,437

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
販売奨励金	7,354,545千円	7,401,481千円
販売促進引当金繰入額	1,278,699	1,349,362
広告宣伝費	868,188	879,645
荷造運賃	1,003,380	1,040,686
給料及び手当	765,493	765,938

2 品質関連損失

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社が製造しているマカロニ製品に製造設備の樹脂片が混入している可能性のあることが判明し、2018年5月9日より当社ホームページや新聞などで公表を行うとともに、当該製品の自主回収を行っており、これらの費用などを計上しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	723,435千円	843,437千円
現金及び現金同等物	723,435	843,437

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2018年6月28日の第89期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,404千円
(ロ) 1株当たり配当額	9円00銭
(ハ) 基準日	2018年3月31日
(ニ) 効力発生日	2018年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

2018年11月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,399千円
(ロ) 1株当たり配当額	9円00銭
(ハ) 基準日	2018年9月30日
(ニ) 効力発生日	2018年12月7日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。2018年6月28日の第89期定時株主総会決議および2018年11月13日開催の取締役会決議による1株当たり配当額については、当該株式併合前の実際の配当額を記載しています。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2019年6月27日の第90期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,396千円
(ロ) 1株当たり配当額	18円00銭
(ハ) 基準日	2019年3月31日
(ニ) 効力発生日	2019年6月28日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

2019年11月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	169,395千円
(ロ) 1株当たり配当額	18円00銭
(ハ) 基準日	2019年9月30日
(ニ) 効力発生日	2019年12月6日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)および当第2四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

1年内返済予定の長期借入金、未払金、未払法人税等、長期借入金およびデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(2019年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	-	-	-
(2)未払金	4,767,121	4,767,121	-
(3)未払法人税等	132,501	132,501	-
(4)長期借入金	-	-	-
(5)デリバティブ取引()	(4,400)	(4,400)	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については()で示しています。

当第2四半期連結会計期間(2019年9月30日)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)1年内返済予定の長期借入金	11,110	11,110	-
(2)未払金	3,218,913	3,218,913	-
(3)未払法人税等	591,170	591,170	-
(4)長期借入金	1,188,890	1,184,489	4,400
(5)デリバティブ取引()	(10,419)	(10,419)	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については()で示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)1年内返済予定の長期借入金、(2)未払金および(3)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(4)長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

(5)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	93円09銭	118円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	876,079	1,115,322
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	876,079	1,115,322
普通株式の期中平均株式数(株)	9,411,256	9,410,876

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2 当社は2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しています。

2【その他】

2019年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 169,395千円
(ロ) 1株当たりの金額 18円00銭
(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 2019年12月6日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

双研日栄監査法人

代表社員 公認会計士 吉澤 秀雄
業務執行社員

代表社員 公認会計士 渡辺 篤
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。